

全ての学習の基盤 ②

情報活用能力の育成

- 子どもたちは日々の授業において、話や文章に含まれる情報を目的に応じて取り出し、その内容を基に自分の考えをまとめ、友達と交流して学び合う、「受信・分析、まとめ、相互発信」のある学習活動を行っています。この一連の学習で必要となるのが、情報を活かす力、すなわち情報活用能力です。



- 情報を活かすとは、**情報を収集・整理・活用**することです。情報は、集めて整理するだけでは意味がありません。子どもたちには、「**発信を前提とした受信**」を行わせることがポイントです。
- 予測困難なこれからの社会においては、情報やコンピュータ等の情報機器の操作技術を受け身で捉えるのではなく、手段として活用していく必要があります。未来を切り拓く本市の子どもたちが、**情報を主体的に活用し、他者と協働しながら、新たな価値の創造に挑む人**に育つことを切に願っています。
- 引き続き、各校では教科等の学習を通して、一人一台端末の効果的な活用やプログラミング的思考、情報モラル、情報セキュリティ、統計に関する資質・能力等の育成を発達段階に応じて計画的に進めることが大切です。

チームの強化

ラグビー元日本代表ヘッドコーチ エディー・ジョーンズ

私のすべきことは、選手たちのいいところを引き出し、それを結集して、チームを強くすることです。

出典：「ハードワーク」（講談社）

※ スポーツチームに限らず、全ての組織づくりに生かしたい名言です。